

知っていますか？伊豆の砂浜にアカウミガメが毎年産卵に来ていること

アカウミガメの産卵地

北太平洋に生息するアカウミガメにとって日本は**唯一**の産卵地です。**下田市の砂浜は毎年アカウミガメが訪れ、貴重な産卵地になっています。**産卵をするために日本を訪れたアカウミガメは砂浜へ行き、ピンポン玉のような卵を100個程産み落とします。母ウミガメは産卵期に2~3回砂浜に行き産卵を繰り返します。



アカウミガメの回遊

8月下旬の夜、下田の砂浜で孵化した稚ガメは海へ向かいます。その後、稚ガメは黒潮と北太平洋海流に乗って、栄養の豊富なバハ・カリフォルニア沖（メキシコ沖）まで向かいます。北アメリカ大陸沿岸で見られる個体は約95%が日本で生まれ回遊してきたアカウミガメです(B.W.Bowenら,1995)。その為、北太平洋に生息するアカウミガメを保全するためには、産卵地である日本の砂浜の保全が鍵となります。

| | |
|----|--|
| 種名 | アカウミガメ |
| 学名 | <i>Caretta caretta</i> |
| 採餌 | エビ・カニなどの甲殻類 |
| 特徴 | 他のウミガメに比べ、頭が大きい 甲長：約80cm 体重：約100kg |



下田市でのアカウミガメ保全活動

静岡県による活動

静岡県では、「静岡県希少野生動植物保護条例」に基づき、希少野生動植物のうち特に保護が必要な種を『指定希少野生動植物』に指定しています。

平成26年4月1日から、新たにアカウミガメが指定希少野生動植物に追加されました。

下田海中水族館による活動

静岡県から保護監視員として委託されている下田海中水族館によって、アカウミガメの産卵調査や孵化率調査が行われています。砂浜を歩いてアカウミガメの足跡を探したり、近隣の方からの連絡を受けて調査を行っています。

アカウミガメの足跡などを発見しましたら下田海中水族館(担当：浅川弘) 090-9024-1394までお電話ください。

東京都市大学環境学部環境創生学科 田中章研究室による活動

田中章研究室は2011年から毎年下田市で「アカウミガメ保全のための勉強会」を開催しています。

勉強会を開催することで、多様な立場の人々による下田市でのアカウミガメ保全活動の連携を促進するための場を提供しています。

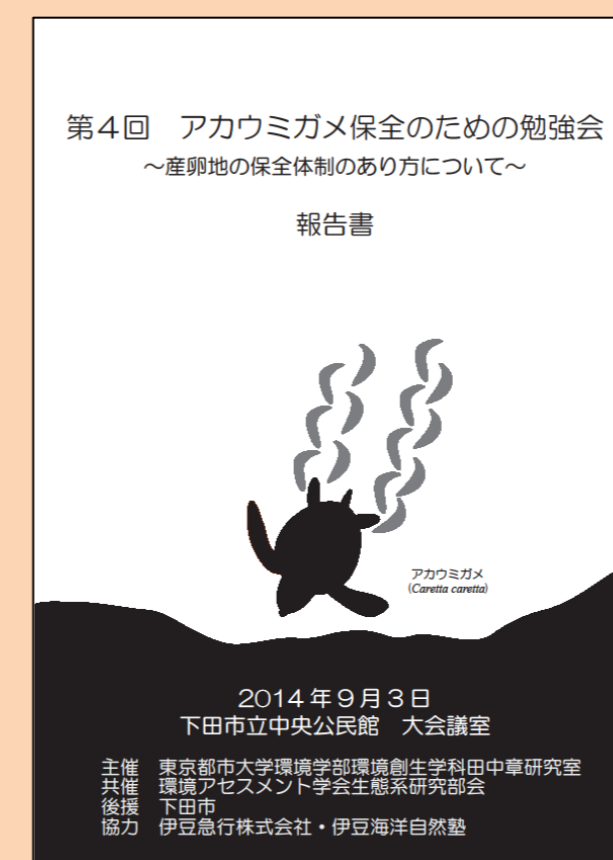
詳しくは田中章研究室が作成しました下田プロジェクトHPへ→
報告書がご覧になります



(<http://www.yc.tcu.ac.jp/~tanaka-semi/concept.html>)

2014年度勉強会の来場者（一部抜粋）

- ・下田海中水族館
- ・伊豆海洋自然塾
- ・iZoo
- ・伊豆急行株式会社
- ・静岡県
- ・下田市役所
- ・環境省
- ・南伊豆町役場
- ・下田高等学校



第4回勉強会の報告書



アカウミガメの周知のために配布しているステッカー



東京都市大学環境学部環境創生学科田中章研究室
協力：伊豆急行株式会社

